

「中大脳動脈開存型の内頸動脈閉塞症における 血栓移動の影響を検討する観察研究」

【研究の意義・目的】

この研究は、急性期脳梗塞のうち、内頸動脈閉塞を認めるにも関わらず同側の中大脳動脈が開存している症例において、血栓移動が入院中の症状増悪、遠隔期の転帰に影響しているかを調べることを目的としています。本研究により、このような特殊な内頸動脈閉塞症における神経症状増悪の頻度を知ることができたり、治療方針の意思決定に役立ったりする可能性が期待されます。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2006 年 1 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日の間に当院で治療を施行した急性期脳梗塞患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、身長、体重、既往歴、脳卒中の病名、重症度、症候性頭蓋内出血の頻度、画像データ、血液データなどです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・波多野武人の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 脳神経外科 担当者 近藤大祐
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）